自衛隊は見込みうす

陸別

過疎化になやむ陸別町では、その対策のひとつとして自衛隊の誘致を打ち出した商工会を中心にした誘致期成会からの請願を、町議会では賛否両論が対立して激論のすえこれを多数決で採択して理事者に送付となつていらい、期成会とともに町として正式に帯広第五師団から北部方面総監部へさらに防衛庁へと、出帯、陳札、上京の都度その誘致運動をつづけてきましたが目下のところは見込みうすというのが実態のようです

期成会側としては四十七年度からはじまる第四次防衛整調計画によつて第五師団に普通科一個連隊がふやされたらということで、いまただちにということでなく、そのときに備えて受け入れの意思表示をしておく必要があるとして請願したもので、帯広から美幌までの中間地点であり、従来から自衛隊に協力的な町なので増配置されるならスムーズにゆくし、普通科なので騒音などの被害はなく、町の税収もふえ商店の売りあげもあがるので、ねがつてもない過疎化対策としてとりあげられたものです。

ところが第四次防では陸上部隊よりも海、空装備のの近代化に重点がおかれていること、四次防そのものが国の内外から日本の軍国主義復活のあらわれとして批判されていること、いずこも求人難のおりから既設の陸上自衛隊すら定員不足で新設は困難であることなどから、いまのところは望みうすで、このために特に町費をかけて運動する時期ではないとのみかたで十一月十四日に第五師団の展示演習で来町したさい町や期成会が師団長以下に陳情したものの、ここ三年や五年内の問題ではないとして、当面どうのこうのという問題ではないことを示していました。

足寄の地質をスライドに

理科センター

足寄理科センター（公民館内）ではこのほど「足寄の地質」東部編（稲牛、ラワン）のスライドとその解説書を完成して郷土の視覚教育に貴重な資料を提供しました。

この理科センターは所長の佐々木健一氏（西小）を中心に那賀島彰一（大誉地中）栗田雅夫（足中）大井俊春（西中）村田武雄（西小）千葉力（東小）の五氏が所員で、町内のベテラン理科教師陣によつて構成されており、監修にあたつた足寄高校主事の清水公康氏は『これまで学校で使われている教材、スライドがあまりにも標準的で、郷土のまのあたりの変化についての知識がなければ理解でき難いので、直接現場の先生がこの困難な企画をしスライドを作成したことは立派なもので教育的価値が高いもの…』と称讃しており、町教育長の岡靖氏は『児童生徒はもちろんのこと広く一般の方々の日常の質料として活用され産業の発展に資するもの…』といつています。

佐々木チームではひきつづきこのあと北部編（大誉地、上利別、愛冠）中央編（足寄市街）西部編（芽登旭ガ丘、喜登牛）を順次作成してゆくことにしていますが、これらの集大成による教育効果が期待されています。

告訴合戦その後

土地改良区問題

本別　地検では目下捜査中

本別町議会の安久津清人議員が本年三月の町議会での一般質問で提起した本別町土地改良区（水元孝夫理事長）の工事にかかわる不正容疑事件について、議会で調査の動議不成立に抗議して辞職した同議員は水元氏を告発、水元氏は五月の町長選を前にして安久津氏を名誉毀損で告訴、これにたいして安久津氏は水元氏をぶ告で告訴という告訴、告発合戦のその後―。

水元氏は五月の町長選で再選されて土地改良区理事長はそのまま、一方の安久津氏も八月の町議選で議席を復活、その初議会では町長と土地改良区理事長との兼任は地方自治法第百四十二条の兼職禁止にふれるのではないかと追及すれば、全道の町村長の半数は兼任しているとやり返すなど、依然として両者は冷たい対立状態をつづけており、問題の事件の方は本別警察署から釧路地方検察庁帯広支部へ書類送致となつて目下地検の方で捜査中といわれます。

事件が不起訴となれば安久津氏は名誉毀損に問われることになり、もし起訴となれば水元氏はぶ告にふれ政治的に影響するということで、どっちにころんでもただではすまない指し違いの要素をもつているだけにそのなりゆきが注目されます。

議員、委員の請負禁止に

賛成署名がオーバ

監査請求の手続き

足寄町政刷新協議会による議員や委員の町との請け負い営利関係是正の監査請求の賛成署名運動は所定の一カ月の期間に達したので八日をもつて打ち切られました。

同協議会では九日中に署名簿を回収したうえで直ちに町選挙管理委員会に提出して審査をうけることになりました。

同選管では署名者が町の有権者名簿にのつているかどうか、数が有権者数の五十分の一（百九十三名）に達しているかどうかを証明し、この証明によつて正式に監査請求の手続きをとることになりますが、賛成署名者は五十分の一をはるかにオーバーしてあつめられたので、請求の趣旨にもとずいて監査委員の監査となります。

請求の要旨は

一、議員、委員の四カ年の町または委員会もしくは町で経費を負担する団体事業との請負い契約の内容とその結果

二、どういう点に弊害があるか

三、法人名儀なら年間五〇%までは妥当かどうか

四、兼業禁止を徹底させるにはどうあるべきか

などで、これによつて問題の実態が明らかにされるものとみられ、その監査の結果にもとずいて同協議会ではさらに町民運動をすすめようとしています。

京呉服・婚礼衣裳
美しい きものと 帯は
㊀久 久保呉服店で
足寄町 T 四一二八

質問ぶり―答弁ぶり

傍聴席から

高本修司 記

私は昨年から今年にかけて足寄町議会を九回ほど傍聴しましたが、議員の質問ぶり、理事者側の答弁ぶりからその印象を寸評してみます。

○遠山議員　声も一番大きいし名調子で、彼独得のもので所々にワサビを入れながらまとめる。さすが専修大学出のインテリ議員だけにどこか違う。

○鳴海議員　前者と対象的に言葉に力が入りグイグイと肉迫する屈指の議員他の議員の気ずかぬ大ものの質問を出す。

○伊藤議員　保守派の重鎮だけに古いことも綿密に調査してグツと押し通す

○宮口議員　温厚篤実な紳士、もの静かな調子で焦点をついている。

○新沼議員　自民党支部長の貫録もあり腹のねれた質問はさわやかで議題の多いのは勉強のたまもの

○香川議員　言葉の表現は若年寄級。「いわゆる」を多く使うのが特長。

○神本議員　ファイトは一流、法律や条例を参考に入れながら迫る。

○矢野議員　共産党議員だがおおらかで弾力性があるが、時々針をさす。

○大久保議員　農村議員に稀れなセンサイな性格で質問も語りかけるようだがピリッとする。

○斉藤副議長　副議長の貫録充分で、しぶい声で相手の人格にこまかい配慮をする。

○大野議員　進取の気性のもつとも若い議員、勉強熱心だが幾分遠慮気味。

○久保田議員（前）　二期目になつて質問口調も態度も成長し、マメに活動している。

○大滝議長　難しい討議、採決も手際よく、威厳のあるヒゲもまた格別。

○小林町長　高橋前町長より声は低いが、教師をしただけにていねいで、質問事項を反復しながら答弁する物腰は紳士的。

○富田助役　どんな難問も切るようにさばいておりよく勉強している。

○岡教育長　なかなか頭の切れる大物級で、答弁は前教育長とは反対に簡潔で明確。

○谷企画課長　直立不動の姿勢で緊張気味で答弁。

○松平建設課長　低音で早口なので聞きとり難いが人格円満タイプ。

○丸谷農政課長　ハッキリした答弁ぶりで、仕事もバリバリ型。

○喜多社会課長　役所には珍しく迅速処理の仕事ぶりから答弁も具体的。

○新津教育委員長　役職の多いのでは町内随一。キチョウメンな性格からねばり強く説明なつとくさせようとつとめている。

以上、思いついたまま失礼なことも書きましたが、要は明るい住みよい足寄町であるようにとの願いからでそのために最高議決機関である町議会を傍聴するようにしようではありませんか

なお、明年の町議選にあたつては全立候補者が一堂にあつまつて立会演説会をひらくこと、さらに町長選の立会演説会ではA候補、B候補が交互に反復討論をするようにしてもらいたいものです。

（筆者は商工会理事）

大豆と豆腐などとの交換
例年どおりにはじめました。
お早目にお申し込み下さい。
足寄町中央五区　高本とうふ店　T 二五〇五　矢野木工場裏

新畳　表替　中古畳　ふすま張替
二段ベッド　敷物一式
小林畳店　小林幸三郎
足寄町大通り山口整骨院前　T 二四二八

不動産についての御相談は
調査　売買　あつせん　管理　分譲
代行　登記　損害保険　代理まで
同和、興和火災保険代理店
北海道免許十26
足寄不動産事務所
足寄町本通り三丁目　T 二三四五

家具と新建材販売！
既製家具から
注文建具、サッシ
新築・改築に御相談下さい
桜井建具店
足寄町北5区　T 2362
建具製作部工場　北5区

◎造材
マツカラーチエンソー
スチール　チエンソー
共立　チエンソー
◎造林
イリノ　共立
日立　ロビン　刈払機
◎建設
日立　マキタ　神鋼
電動工具
◎酪農
◎好評のイリノ式、共立製
新型もちつき機械　格安品入荷
◎チエンソー中古整備品あり
日本一長運斉各種刃物代理店
機械の修理は迅速低格！　誠実本位！
有限会社　鈴木鋸刃物店
足寄町大通り　T 2307